

**一般演題 3 O3-06****SNS における「映え」ダイビングの実際とそれに潜む危険性**

○安田百合子

AND 美容外科

**【背景】**

近年、SNS の普及によりダイビングの楽しみ方が多岐多用になり、撮影を目的とした潜水など行われている。その一種としてフリーダイビングがあり、スキンドайビングやマーメイドスイムなどの名前で楽しまれている。これらを行う上で危惧される事故などを想定し、安全性を確保するため啓蒙する必要がある。

**【目的】**

前述のスキンドайビングやマーメイドスイムにおける危険性を想定し、基本的なレスキューの手順やルールを学ぶためダイビングライセンス取得の重要性を周知する。またより安全な撮影方法を医学的な視点から検討する。

**【方法】**

実際の SNS 掲載や撮影方法を紹介し、ダイビングライセンスごとの学習内容の比較や現実的な啓蒙方法の検討を行う。

**【結果】**

近年では PADI や SSI から出されているライセンスが主で、世界基準となっている。どちらも安全面での項目はあり、実践でも対処方法を学ぶことができる。またライセンスがあることで国内外のレクリエーション時に、参加者の知識の基準にもなり緊急時の指示もだしやすくなる。

**【考察】**

発表者の実体験を画像や映像を踏まえて紹介していく。取得したダイビングライセンスの解説を行い、今後のいわゆる映えるダイビングの展望を考える。今後多くの人が興味を持ち活動をはじめると、より安全の概念の共有が必要となる。また同行者やそのカメラマンなどの職種にも最低限のレスキューの知識が求められている。泳げれば参入できるため規制がない分野であるため、それこそ SNS を通して安全に楽しむために広めていく必要がある。